

平成22年度地区別市政懇談会意見・要望 西地区

平成22年8月23日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
1	ふるさと秦野教育を全市的にお願いしたい。ふるさとへの愛着が出て市民力の高まりにもつながると思う。	「秦野ふるさとめぐり」という冊子を利用して学校での活用、ふるさと秦野検定への活用、生涯学習への活用を現在行っている。更に推進したい。こどもが目を輝かせてふるさとを誇れるような、ふるさとを大事にするような心が大切と考える。	引き続き、市内の全幼稚園、小中学校研究会に対して里地里山自然環境活用学習研究委託事業を行いながら、ふるさと秦野への愛着を高める教育に努めたいと考えております。 併せて、秦野を知り、よさを実感する観点から、研究所発刊「秦野ふるさとめぐり」の内容を対象とした「ふるさと秦野検定」を継続して実施します。  現在、公民館、桜土手古墳展示館、市民大学などで成人を対象に、ふるさとを学ぶ講座等を実施していますが、今後も継続して開催し市民の皆さんが改めて故郷に愛着を持っていただくようにしていきたいと思っております。	教育研究所  生涯学習課
2	渋沢駅前の区画整理について、第一期の北側、第二期の南側については終わったのだが、第三期の松原町周辺についてはいまだ話も無い。地域まちづくりに触れられていない。一体どうなったのか。	地域まちづくり計画については行政が主体となるハード計画の中には入っていないので触れられていないが、松原町への着手については、経済状況や国の施策が変わり、財政的に困難になっている。当時の状況とは変わってきている。	秦野駅南部(今泉地区)での土地区画整理事業を先行しており、その後の対応となります。	市街地整備担当
3	総合計画について、10年先の予想を数字にした具体的な変化を見せたほうがよいと思う。	今回のものは素案なのでそこまで示していないが、実際の計画のなかでは施策の数値目標を示していく。	基本計画では57ある基本施策ごとに、施策を実現するため、将来を見据えた数値目標を定めます。	企画課
4	総合計画の中の市民の力を活かすというのは抽象的だ。元気のある定年した世代の力をもっと活かさないか。	そのような方が参加できるようなボランティア活動の積極的なPRをしていきたい。そのような方々の力を借りることは市民力につながるというのはその通りだと思う。	ご意見のとおり、団塊世代の企業リタイヤの人が増加していくなか、この方たちに地域に目を向けてもらい、地域社会において、様々な知識や経験を活かして活躍していただくことは必要と考えています。 そのため市内で活動しているボランティア団体や市民活動団体について、広く市民に紹介できるよう努めていきます。	市民自治振興課

平成22年度地区別市政懇談会意見・要望 西地区

平成22年8月23日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
5	相談窓口について、警察は市の職員がもっと時差出勤などをして時間差で夜中にも対応できる状態を作りたいと思っている。警察の負担軽減のため市の職員の時差出勤等はできないか。	要望として受け止めます。	秦野署の生活安全課と情報を共有することで、それぞれの時間帯の中で連携をとっていきます。	広聴相談課
6	平成16年度から20年度で秦野行革推進プランの結果、31億4千万円の財政効果があった、とあるがこの数字が物足りないのか満足できるものかわからない。まず、実現性の効果と説明つき数値目標がないとはっきりしないのではないか。	目標は33億円としていた。次期プランについても数値目標を明らかにしていく考えである。	新行財政改革プランにおいても、実現性のある改革内容、数値目標、及び効果額の用途を明確にしていきます。	行政経営課
7	新プランに先立ち秦野行革プランには行革と言えないような、当たり前のものもある。例えば観光協会のサイトの立ち上げ。しかも観光課から協会への直リンクはあるが、協会から観光課への直リンクは無い。もっと行革にふさわしい項目を挙げるべきだ。	確かに協会から市へのリンクはあるが、観光課への直リンクはありません。ご意見を今後の参考としていきたい。	具体的な改革内容については、各課における検討のほか、外部委員による秦野市行財政調査会でも検討中であり、その検討内容に基づき計画を策定します。	行政経営課
8	組織の縦割りの弊害があるのではないか。組織間の連携が見えてこない。例えば、秦野の水の販売は水道局だが、水の話は環境保全だったりする。つながりは取れているのか。	内部的に連携はとっているが、外からは見えにくいかもしれない。きちんととっているのでご理解いただきたい。縦割りの弊害をなくす体制作りをしていきたい。	組織間の連携は取っていますが、より縦割りの弊害をなくす組織、執行体制の確立に努めます。	行政経営課

平成22年度地区別市政懇談会意見・要望 西地区

平成22年8月23日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
9	秦野行革プランにある職員の意識改革については、どのように判断するのか。ものさしはあるのか。	意識改革のものさしについては課題として考えるが、窓口サービスについては市民委員により毎年サービス基準を満たしているか確認している。職員意識に波及していると考え。	職員の意識改革について、ものさしの確立は課題として考えています。窓口サービスについては、市民委員による調査や、市民アンケート調査等が、一つの指標になると考えています。	行政経営課
10	職員改革の推進について、市の職員は様々なことをもっと手短かにやって欲しい。	要望として受け止めます。	各業務に適した効率的・効果的な手法に努めていきます。	行政経営課
11	行政改革について、何でもかんでも民間委託にすることが良いとは思わない。	要望として受け止めます。	市直営より、民間委託等のほうが、効果的・効率的であると判断した業務について、民間委託等を推進していきます。	行政経営課
12	シルバー人材センターについて、手数料負担の振込みはおかしい。商売人意識が欠如していると思う。	要望として受け止めます。	シルバー人材センターに報告します。	高齢介護課
13	職員意識について。市の催し物の案内ポスター等が時期が過ぎても掲示されているものがある。気を抜かずにやるべきだ。	要望として受け止めます。	的確な周知等に努めていきます。	人事課・行政経営課
14	素行不良の中高生のための相談員としてもっと婦警を増やすよう働きかけて欲しい。	要望として受け止めます。	青少年の更生に効果的な対策を講じられるよう、警察にご意見を伝えます。	くらし安全課

平成22年度地区別市政懇談会意見・要望 西地区

平成22年8月23日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
15	総合計画に歴史的背景を考慮して欲しい。旧地名などは大切に残して欲しい。平成の合併ではおかしな地名がたくさん誕生した。	要望として受け止めます。	本市は2町5村が3回の合併により、現在の市域が形成されました。全国に先駆けて取り組んだ陶管水道事業、町営電気鉄道などは市民の誇りであります。総合計画では、歴史、文化の背景を大切にすることを記述します。	企画課
16	ハコモノについて。秦野市ならではのものがあればつくってもよいのではないか。	要望として受け止めます。	現在あるハコモノを全て維持することは不可能であり、優先順位を付けた上で床面積を削減する必要があります。	公共施設再配置計画担当
17	未収金の額が大きい。職員だけでなく定年後のスペシャリスト等の利用を考えてみてはどうか。	市には非常勤の担当職員もいるが、公権力の行使に当たるので職員以外できない部分もある。有志職員等で頑張っているのをご理解いただきたい。	現在、本市では未収金対策として、担当課職員はもとより、非常勤職員(納税推進員)により、徴収業務等に取り組んでいます。税金の徴収は公権力の行使に当たるため、税担当職員(徴税吏員)以外の活用等については、難しい部分がありますので、御理解ください。	納税課 (未収金対策担当)
18	地域づくりで西地区は整然としてきたが、人間のふれあいの場が無くなった。渋沢駅は登山者の拠点であって、情報交換を行う場であった。外から来てくれた人が喜ぶような憩いの場ができないものか。	要望として受け止めます。	参考意見とさせていただきます。	都市づくり課
			一例として、渋沢駅改札近くに、秦野駅に設置してあるデジタル観光案内板のような情報ステーションを整備し、登山客が情報交換できる空間を創出できないか、課題として研究していきたいと考えています。	観光課
19	渋沢商店街のヤオマサの辺りは歩道が悪い。30年くらいそのままだが、安全にして欲しい。計画はあるのか。	厳しい財政状況の中で、家の移転をお願いしてまで拡幅するには、財政的に問題がある。このため、家の建替え時などにおいて拡幅事業に協力をお願いしている。	今後も、沿道家屋の建て替えなどに合わせて、歩道拡幅事業への協力を求め、歩行者の安全確保を図っていきます。	道路公園整備課

平成22年度地区別市政懇談会意見・要望 西地区

平成22年8月23日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
20	公民館は生涯学習の拠点。充実をお願いしたい。	要望として受け止めます。	現在あるハコモノを全て維持することは不可能であり、優先順位をつけた上で、床面積を削減する必要があります。また、優先順位の高い施設を更新していくためには、管理運営体制の大幅な見直しも行う必要があります。	公共施設再配置計画担当
			地域の生涯学習の拠点であります公民館については、地域との協働、市民の生涯学習活動に対して支援を推進するなど事業の充実に努めていきたいと考えております。	生涯学習課
21	市の行事等の日程の通知が遅い。これは職員の意識改革につながるものだ。	要望として受け止めます。	的確な周知等に努めていきます。	人事課・行政経営課
22	自治会の掲示板の。掲示物の多くは市のものなので管理費の一部は負担して欲しい。	要望として受け止めます。	懇談会における回答に同じ	市民自治振興課
23	植樹祭の後、担当セクションはどうなるのか。	必要な事務処理が終了後、廃止となる。	平成22年8月31日をもって、全国植樹祭推進課は廃止しました。	行政経営課
24	7月に参議院の選挙があったが、入場券は受取人不明で戻ってくるのはあるのか。また、戻ってきたものについては、追跡調査はするのか。	後日回答します。	本年度7月執行の参議院選挙において、住民基本台帳に登録されている住所へ67,360件発送し、未着で戻ってきたのは554件ありました。入場券が届かない旨の連絡がきた方について調査をしています。	選挙管理委員会